

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月8日

【四半期会計期間】 第46期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 東海リース株式会社

【英訳名】 TOKAI LEASE CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 三木伸之

【本店の所在の場所】 大阪市北区天神橋2丁目北2番6号

【電話番号】 06(6352)0001(代表)

【事務連絡者氏名】 総務部長 大西泰史

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区天神橋2丁目北2番6号

【電話番号】 06(6352)0001(代表)

【事務連絡者氏名】 総務部長 大西泰史

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

東海リース株式会社東京支店
(東京都港区虎ノ門5丁目1番5号)

東海リース株式会社千葉支店
(佐倉市大作2丁目2番2号)

東海リース株式会社横浜支店
(横浜市中区弁天通4丁目59番)

東海リース株式会社名古屋支店
(名古屋市中区栄3丁目32番20号)

東海リース株式会社神戸支店
(神戸市中央区下山手通6丁目1番4号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第1四半期連結 累計期間	第46期 第1四半期連結 累計期間	第45期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	2,549,922	2,908,321	12,937,867
経常利益又は経常損失() (千円)	49,179	43,914	316,834
当期純利益又は四半期純損失() (千円)	60,105	58,213	259,976
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	30,856	110,095	474,315
純資産額 (千円)	14,681,200	14,885,887	14,949,990
総資産額 (千円)	26,529,412	27,363,160	27,437,273
1株当たり当期純利益金額 又は四半期純損失金額() (円)	1.73	1.67	7.47
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	53.1	52.3	52.4

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、第45期第1四半期連結累計期間及び第46期第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失が計上されており、また、いずれの期間においても潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権による経済財政政策や日本銀行の金融緩和により景気回復の兆しが見られたものの、円安の影響による原材料の価格上昇、欧州財政問題や中国等の成長鈍化など、国内外の懸念材料もあり、景気の先行きは引き続き不透明感が残る状況にあります。

仮設建物リース業界におきましても、耐震化に伴う仮設校舎の需要は堅調ではありますが、民間企業の設備投資は未だ低調であり、経営環境は依然として厳しい状況にあります。

このような状況におきまして当社グループは、東北地区を重点地域として積極的な営業活動を行い売上高を伸ばしたものの、減価償却費などの固定費をカバーするまでには至りませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,908百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。損益面につきましては、営業損失は29百万円（前年同四半期は31百万円の営業損失）、経常損失は43百万円（前年同四半期は49百万円の経常損失）、四半期純損失は58百万円（前年同四半期は60百万円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメントごとの業績は、日本が売上高2,785百万円（前年同四半期比14.8%増）、中国が133百万円（前年同四半期比7.7%増、セグメント間取引消去後122百万円（前年同四半期比0.9%減））となりました。また、営業損失は日本が26百万円（前年同四半期は32百万円の営業損失）、中国が3百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失、セグメント間取引消去後は3百万円の営業損失（前年同四半期は0百万円の営業利益））となりました。

(2)財政状態の分析

資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末より74百万円減少し、27,363百万円となりました。理由の主なものは受取手形及び売掛金の減少198百万円であります。

負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より10百万円減少し、12,477百万円となりました。理由の主なものは長期借入金の減少192百万円であります。

純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末より64百万円減少し、14,885百万円となりました。理由の主なものは配当金の支払173百万円によるものであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	34,943,225	34,943,225	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 1,000株であります。
計	34,943,225	34,943,225		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		34,943,225		8,032,668		2,828,787

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 150,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 34,569,000	34,569	
単元未満株式	普通株式 224,225		
発行済株式総数	34,943,225		
総株主の議決権		34,569	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には証券保管振替機構名義の株式が5,000株(議決権5個)含まれております。
- 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式992株が含まれております。
- 3 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 東海リース株式会社	大阪市北区天神橋 2丁目北2番6号	150,000		150,000	0.43
計		150,000		150,000	0.43

2 【役員 の 状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,737,461	1,602,273
受取手形及び売掛金	2 9,783,004	2 9,584,336
商品及び製品	138,463	126,742
仕掛品	33,354	74,066
原材料及び貯蔵品	310,578	321,474
繰延税金資産	41,300	41,300
その他	264,098	256,183
貸倒引当金	63,275	72,495
流動資産合計	12,244,984	11,933,881
固定資産		
有形固定資産		
リース用資産(純額)	5,934,611	6,065,421
建物及び構築物(純額)	2,168,938	2,161,954
土地	4,989,891	4,989,891
リース資産(純額)	1,225,630	1,178,295
その他(純額)	140,718	257,578
有形固定資産合計	14,459,790	14,653,141
無形固定資産	359,293	402,990
投資その他の資産		
投資有価証券	134,665	137,071
その他	225,782	224,940
投資その他の資産合計	360,448	362,011
固定資産合計	15,179,531	15,418,143
繰延資産	12,757	11,134
資産合計	27,437,273	27,363,160
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 3,317,221	2 3,127,582
短期借入金	1,129,321	1,329,321
1年内償還予定の社債	280,000	280,000
リース債務	336,237	241,748
未払法人税等	37,342	-
前受リース収益	2,564,758	2,656,616
賞与引当金	115,629	55,770
役員賞与引当金	12,750	6,800
設備関係支払手形	43,609	97,928
その他	490,262	836,344
流動負債合計	8,327,132	8,632,112

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
固定負債		
社債	720,000	620,000
長期借入金	2,412,395	2,219,544
リース債務	315,029	293,944
繰延税金負債	40,300	42,549
退職給付引当金	532,026	531,746
役員退職慰労引当金	140,400	137,375
固定負債合計	4,160,151	3,845,159
負債合計	12,487,283	12,477,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,032,668	8,032,668
資本剰余金	5,637,764	5,637,764
利益剰余金	930,545	698,371
自己株式	27,551	27,788
株主資本合計	14,573,428	14,341,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,885	29,375
為替換算調整勘定	223,084	67,505
その他の包括利益累計額合計	195,198	38,130
少数株主持分	571,760	583,001
純資産合計	14,949,990	14,885,887
負債純資産合計	27,437,273	27,363,160

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,549,922	2,908,321
売上原価	2,047,766	2,348,275
売上総利益	502,155	560,046
販売費及び一般管理費	534,155	589,879
営業損失()	31,999	29,832
営業外収益		
受取利息	2,472	1,018
スクラップ売却益	3,187	2,072
その他	4,945	6,978
営業外収益合計	10,605	10,070
営業外費用		
支払利息	21,974	18,649
その他	5,810	5,502
営業外費用合計	27,785	24,151
経常損失()	49,179	43,914
特別損失		
固定資産除却損	4,050	5,470
特別損失合計	4,050	5,470
税金等調整前四半期純損失()	53,230	49,384
法人税、住民税及び事業税	8,757	11,358
法人税等調整額	2,735	2,432
法人税等合計	11,492	13,791
少数株主損益調整前四半期純損失()	64,722	63,176
少数株主損失()	4,617	4,962
四半期純損失()	60,105	58,213

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	64,722	63,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,891	1,520
為替換算調整勘定	103,471	171,751
その他の包括利益合計	95,579	173,272
四半期包括利益	30,856	110,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,099	98,855
少数株主に係る四半期包括利益	28,756	11,240

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第1四半期連結会計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	161,020千円	182,057千円

2 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	39,855千円	11,015千円
受取手形裏書譲渡高	12,779千円	12,215千円
支払手形	11,913千円	51,150千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	265,857千円	278,955千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	173,982	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	173,961	5	平成25年3月31日	平成25年6月28日

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)
	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,425,895	124,027	2,549,922		2,549,922
セグメント間の内部売上高 又は振替高		284	284	284	
計	2,425,895	124,312	2,550,207	284	2,549,922
セグメント利益又は損失()	32,271	1,350	33,621	1,621	31,999

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)
	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,785,378	122,943	2,908,321		2,908,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高		10,946	10,946	10,946	
計	2,785,378	133,889	2,919,267	10,946	2,908,321
セグメント利益又は損失()	26,800	3,395	30,195	362	29,832

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額(円)	1.73	1.67
(算定上の基礎)		
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(千円)	60,105	58,213
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失(千円)	60,105	58,213
普通株式の期中平均株式数(株)	34,796,261	34,791,534

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また、いずれの期間においても潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月5日

東海リース株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森村 照私 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口 圭介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東海リース株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東海リース株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。